

-----1月13日-----

※ 今週のアウトルック (1/13~1/17)

先週は米国雇用統計の結果が予想を下回り、週末には円高傾向が強くなりました。ただ、予想を下回った原因として季節適要因、悪天候の影響と考えるアナリストが多く、中、長期的な景気回復には影響が少ないと解釈するムードが強いようです。

今週は、ある程度の買い戻しが入ることも予想されますが、昨年の最高値をブレイクして行くには、まだ材料不足のような気がします。

先週米ドルは、米国雇用統計の結果が予想を下回り、週末には円高が進みました。ただ、この解釈について一時的なものをする風潮が強く、もう一段の円高が進む可能性は少ないかもしれません。

104円を大きく割り込むようなことがなければ、今週は狭いレンジでの動きになるのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは103円から105円です。

ユーロ円は米国雇用統計の結果を受けて、142円付近まで下落して先週末を迎えています。142円を割らなかったこと、5日、25日の移動平均が下落を示唆するまでに至らなかったことなどから、今週、142円を大きく割るようなことがなければ、比較的狭いレンジ内で推移するのではないかと考えています。

ユーロ円の予想レンジは141円から145円です。

ポンド円は再上昇のムードが少し高まったように思います。ただ、175円を超えた円安が進むには、もう少し時間がかかるように思います。

ポンド円の予想レンジは170円から175円です。

今週は米国雇用統計の予想外の悪化を、「中、長期的には影響が少ない」と考えるセンチメントが強いようですが、要人発言などによって一気に覆ってしまう事も、過去には度々ありました。

突発的なニュースには十分注意したいところです、

\*免責事項\*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。